

学校教育目標	豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成
目指す学校像	季節の花と明るい挨拶にあふれ、生徒一人ひとりの夢と生きる力を培う学校 ―大好き TAIHEI―

重点目標	1 学力向上に関する取組 (個別最適な学びと協働的な学びの充実) 2 心のサポートに関する取組 (自己肯定感等の向上や寄り添った支援) 3 地域ともにある学校づくりに関する取組 (保護者・地域等との効果的教育活動の展開) 4 安心・安全に関する取組 (生徒が安心・安全に過ごせる学校環境) 5 教員に指導力向上及び資質向上に関する取組 (全ての教職員が学び、高め合える環境)
------	---

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価	
		年 度 目 標		年 度 評 価		実施日令和8年2月25日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査、市学習状況調査において、各教科の正答率は全国、市平均と比べ、概ね良好である。 ○市質問紙調査「授業中、分からないことがあったとき、先生に聞くことができますか」で、肯定的な回答が市平均を上回る。 (課題) ○日々の授業態度については良好だが、自分なりに計画を立てながら家庭学習に取り組もうとする意欲が高くない。 ○市質問紙調査「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」で肯定的な回答が市平均を下回る。	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業改善 ・学ぶ楽しさを感じているか	①特性や学習進度、学習到達度に応じ、指導法・教材、学習時間の設定等を工夫した授業展開の取組。 ②『じ・し・ゃ・く』(じぶんできめる・しこうする・やってみる・クラウド)に取り組む、指導力向上と授業改善の取組。 ③「学びの指標」のアンケートによる、授業実践の課題把握による、指導方の改善。	①学びの指標アンケートで市の平均以上。 ②市学習状況調査「授業の内容はよく分かりますか」で肯定的な回答80%以上。 ③学校評価「わかり易い授業をしている」肯定的な回答80%以上。	①すべての項目で市の平均を上回ることができた。 ②市学習状況調査における肯定的な回答の割合は91.0%であった。 ③学校評価における生徒97.5%・保護者72.4%の肯定的な回答の割合であった。	B	・学びの指標アンケートを今後も継続して校内において実施し、授業改善に繋げ、教職員の授業力の向上を目指していく。 ・次年度も教員相互による授業参観を行い、授業改善につなげていく
		・自己肯定感や有用感、達成感の向上。 ・生徒一人ひとりに寄り添い、大切にす支援。	①授業や学級会、生徒会活動で自己決定場面を多く設定し、自己肯定感を高める。 ②学習指導と生徒指導を一体化させた授業づくり。(生徒指導の実践上の4つの視点を踏まえた教師の意図的な関わり) ③講師招致による特別授業を実施する。	①市学習状況調査「自分で計画を立てて勉強をしていますか」肯定的な回答が市の平均以上。 ②学校評価「自分は意欲的に授業に取り組んでいる」肯定的な回答が90%以上。 ③各教科で教科横断的で探究的な学びを実践。	①市学習状況調査における市平均より4.9%上回った。 ②学校評価における生徒の肯定的な回答の割合は94.4%であった。 ③総合的な学習を主に実践をすすめた。	①市学習状況調査における市平均より4.9%上回った。 ②学校評価における生徒の肯定的な回答の割合は80.8%であった。 ③学校評価における生徒は97.5%・保護者90.5%の肯定的な回答の割合であった。	A
2	(現状) ○学校評価「社会のルールや学校のきまりを守って学校生活を送っている」で、肯定的な回答96%以上。 ○市質問紙調査「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」で、肯定的な回答が市平均を上回る。 (課題) ○生徒一人ひとりの状況を踏まえ、よりの確な支援や相談を行う必要がある。 ○生徒の抱える問題の多様化や深刻化する傾向にある中での適切な対応。	・自己肯定感や有用感、達成感の向上。 ・生徒一人ひとりに寄り添い、大切にす支援。	①保護者との三者面談、生徒との二者面談、アンケートやスクールダッシュサポート等による生徒の心の変化や個の実態把握。 ②さわやか相談室や「Solaるーむ」の活用による長欠傾向にある生徒へのかかわりを学校全体で深める。 ③校内における生徒指導部会及び教育相談部会で、情報連携と対応方針を検討・実践し、組織的な支援を行う。	①市学習状況調査「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか」肯定的な回答75%以上。 ②学校評価「自分は楽しく学校生活を送っている」肯定的な回答90%以上	①市学習状況調査における肯定的な回答の割合は80.8%であった。 ②学校評価における生徒は97.5%・保護者90.5%の肯定的な回答の割合であった。	A	・引き続き、自己決定力を育む主体的活動の場の設定による自己肯定感の向上を図る。 ・成功体験の積み重ねられるように、個に応じた指導を行っていく。
		・地域に貢献できる生徒、地域で活躍できる生徒の育成	①地域行事の意義と生徒との関わりについての啓発活動を行う。 ②様々な取組に、生徒の意見を反映する機会を設ける。 ③地域ボランティアでの活動を振り返り状況を共有する機会を設定する。	①学校評価「Solaルームの活用は効果的であったと思うか」で、肯定的な回答80%以上。 ②学校評価「悩みや相談事などについて、親身にに応じてくれている」で、肯定的な回答85%以上。	①学校評価における教職員の肯定的な回答の割合は100%であった。 ②学校評価における生徒は97.8%・保護者84.0%の肯定的な回答の割合であった。	①学校評価における教職員の肯定的な回答の割合は100%であった。 ②学校評価における生徒は97.8%・保護者84.0%の肯定的な回答の割合であった。	B
3	(現状) ○コミュニティスクールに生徒が参加し、生徒も参加し意見交換が開始されている。 ○「心をつなごう 手をつなごう」をキーワードに、地域のボランティア活動に生徒の参加を募っている。 (課題) ○コミュニティスクールを核とした生徒、保護者、地域との協働活動のさらなる充実。 ○多くの生徒が主体的に地域に関わろうとするまでにはいたっていない。	・地域に貢献できる生徒、地域で活躍できる生徒の育成 ・教育活動の情報発信	①地域や保護者に学校の様子を公開することで、生徒の様子や授業実践を共有できるようにする。 ②学校HP、導入したメール配信機能を活用し情報を発信する。 ③学校教育に係る説明機会を創出するなど、地域に開かれた学校づくりの一層の推進。	①コミュニティスクールに生徒が参加することができたか。 ②市学習状況調査「今住んでいる地域の行事に参加していますか」肯定的な回答が昨年度より高くなったか。	①第2回において防災をテーマに参加することができた。 ②市学習状況調査における肯定的な回答が昨年度より8.3%上回った。	A	・引き続きコミュニティスクールに生徒を参加させ自分が生活する地域社会について考えさせ主体的動けるようにしていく。 ・保護者の学校評価アンケートに分からないという選択肢を設定したので、分からないという選択肢の割合が減少できるように、情報発信を行っていく。
		・生徒が安心・安全に過ごせる学校環境の美化・整備	①安全主任を中心に校舎内外施設の安全点検を毎月行い、関係機関と連絡を取り迅速に対応する。 ②傷病者発生訓練、アレルギー対応訓練、熱中症対応訓練、避難訓練等を確実に実施する。 ③計画的な予算の執行による校舎内外の施設・設備の継続的な修繕等の実施。	①年間5回以上、学校公開を行ったか。 ②配信機能等を活用し必要な情報発信を行ったか。 ③コミュニティスクールを核とした情報共有	①年5回以上行った。 ②配信機能の活用や、学校ホームページの情報更新を行った。 ③資料等の提示を改めるなどし、情報共有を行った。	①安全点検を毎月実施し、軽微な破損等については迅速に対応を行った。 ②環境整備の課題の1つであるエアコンのメンテナンスを計画的に行えるようにした。 ③学校評価における保護者の肯定的な回答の割合は86.4%であった。	①安全点検を毎月実施し、軽微な破損等については迅速に対応を行った。 ②環境整備の課題の1つであるエアコンのメンテナンスを計画的に行えるようにした。 ③学校評価における保護者の肯定的な回答の割合は86.4%であった。
4	(現状) ○安全点検や避難訓練など定期的に実施している。 (課題) ○継続的にミスを未然に防ぐ視点をもった危機管理意識を高めていく必要がある。 ○校舎の老朽化による雨漏りやエアコンの不具合があるため、校内の設備や環境への影響がある。	・生徒が安心・安全に過ごせる学校環境の美化・整備	①安全主任を中心に校舎内外施設の安全点検を毎月行い、関係機関と連絡を取り迅速に対応する。 ②傷病者発生訓練、アレルギー対応訓練、熱中症対応訓練、避難訓練等を確実に実施する。 ③計画的な予算の執行による校舎内外の施設・設備の継続的な修繕等の実施。	①安全主任をととして、全校で校舎内外の安全点検を毎月行われ、破損箇所は迅速に対応されていたか。 ②計画的に修繕を行うことができたか。 ③学校評価の「学校は環境美化に積極的に取り組んでいる」で肯定的な回答90%以上。	①安全点検を毎月実施し、軽微な破損等については迅速に対応を行った。 ②環境整備の課題の1つであるエアコンのメンテナンスを計画的に行えるようにした。 ③学校評価における保護者の肯定的な回答の割合は86.4%であった。	B	・引き続きエアコンのメンテナンスを計画的に行うことで、教育環境を整えていく。 ・計画的に避難訓練を行っているが、今年度の巻巻避難訓練のように視覚的效果を活用しながら安全意識を高めていく。
		・新しい教育情報の収集に努め、活かしているか。	①研究会や講演等へのオンラインも含め積極的な参加。最新の教育情報収集し、自己研鑽するための時間の奨励。 ②教科横断的に授業実践等を見合い、学びあい、共有し、教員の授業力を高める ③多様な生徒に対応した指導に向け、ICTを活用した授業実践及び有効な活用手段を共有し、教員の資質を高める。	①学校評価「わかり易い授業をしている」で肯定的な回答が90%以上。 ②「学びの指標」に関するアンケートで市の平均を上回ったか。 ③研修履歴を活用し、一人最低1回は研修を受けたか。	①学校評価における生徒97.5%・保護者72.4%の肯定的な回答の割合であった。 ②全ての項目で市の平均を上回ることができた。 ③全職員1回は受けた。(平均回数4.6回最大17回、最低1回)	①学校評価における生徒97.5%・保護者72.4%の肯定的な回答の割合であった。 ②全ての項目で市の平均を上回ることができた。 ③全職員1回は受けた。(平均回数4.6回最大17回、最低1回)	B
5	(現状) ○働き方改革への理解は進んできた。しかし、授業スタイルや行事の抜本的見直しなど、新しい発想の下での改革・改善にはいたっていない。 (課題) ○様々な教育課題に適切に対応できるよう、実践的な校内研修が必要である。 ○生徒主体の指導観、評価観への転換。教えるから支援、ファシリテーターへ。	・新しい教育情報の収集に努め、活かしているか。 ・業務のより一層の効率化と削減が図られているか。	①研究会や講演等へのオンラインも含め積極的な参加。最新の教育情報収集し、自己研鑽するための時間の奨励。 ②教科横断的に授業実践等を見合い、学びあい、共有し、教員の授業力を高める ③多様な生徒に対応した指導に向け、ICTを活用した授業実践及び有効な活用手段を共有し、教員の資質を高める。	①学校評価「わかり易い授業をしている」で肯定的な回答が90%以上。 ②「学びの指標」に関するアンケートで市の平均を上回ったか。 ③研修履歴を活用し、一人最低1回は研修を受けたか。	①学校評価における生徒97.5%・保護者72.4%の肯定的な回答の割合であった。 ②全ての項目で市の平均を上回ることができた。 ③全職員1回は受けた。(平均回数4.6回最大17回、最低1回)	B	・次年度も教員相互の授業参観を実施し、校内においても自己研鑽の場を設定していく。 ・研修については、職員との面談等の機会に進め、さらに学校経営に寄与できるような人材育成を行っていく。
		・業務のより一層の効率化と削減が図られているか。	①ファイルホルダーツリーの改善による業務の効率化。 ②採点システムの活用による効率化と時間短縮。 ③配信機能等の活用によるペーパーレス化による業務改善。	①学校評価「業務の効率化により、業務の負担軽減につながった」で肯定的な回答80%以上。 ②印刷関係用品の使用量が(用紙、インク、マスター等)前年度より削減できているか。	①学校評価の業務の効率化における項目の教職員の肯定的な平均回答の割合は93.5%であった。 ②使用量について大きな変化は見られなかった。	①学校評価の業務の効率化における項目の教職員の肯定的な平均回答の割合は93.5%であった。 ②使用量について大きな変化は見られなかった。	B